

カメムシの被害が

(特にミナミアオカメムシ)

各地で確認されています

だいたいの

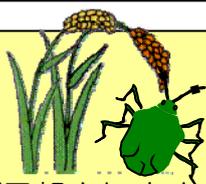
今後もカメムシの発生に
好適条件が予想されています

ミナミアオ
カメムシ
(成虫)

防除を心がけましょう。

防除対策

水稲に寄生していたカメムシが、
水稲収穫後にエサを求めて
隣接した大豆圃場に飛来することが予想されます。



幼莢期から子実肥大期に加害されると、
被害が大きいため
カメムシを確認したら、
下記農薬を参考に防除を心がけてください。



大豆の莢に群がる
ミナミアオカメムシの幼虫

平成23年9月28日現在

主なだいたいのカメムシ防除剤

商品名	希釈倍数	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	速効	残効	系統
スタークル顆粒水溶剤	2000倍	7日前	2回以内	○~◎	◎	ネオニコチノイド
キラップフロアブル	2000倍	7日前	2回以内	○~◎	◎	フェルピラゾール
スミチオン乳剤	1000倍	21日前	4回以内	◎	△	有機りん

****農薬の使用にあたって****

- 他の作物への飛散防止に努めましょう。
- 使用にあたってはラベルの表示事項を守りましょう。